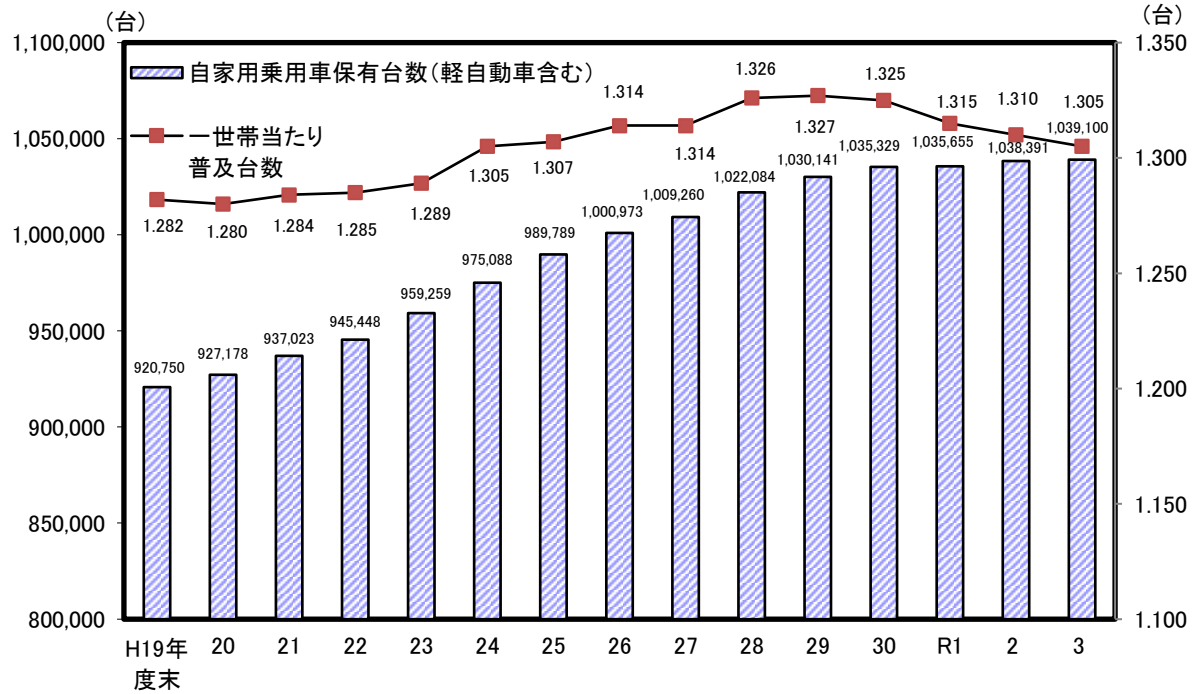


## 熊本県の自家用乗用車保有台数の推移



### 解 説

#### 【概要】

本県の自家用乗用車保有台数（軽自動車含む）は、平成26年度に100万台を突破した。その後も増加を続け、令和3年度末は1,039,100台で前年に比べ0.1%増となった。

一世帯当たりの普及台数の推移について見てみると、平成29年度をピークに4年連続の減少となっている。

#### ○全国消費実態調査

国民生活の実態について、家計の収支及び貯蓄・負債、耐久消費財、住宅・宅地などの家計資産を総合的に調査し、消費・所得・資産に係る水準、構造、分布などを明らかにすることを目的とする。

#### ○耐久消費財の範囲

- (1) 家計用として使っているもので、営業用のものを除く。
- (2) 別荘などにあるものも含める。
- (3) 他人に貸してあるもの又は預けてあるもの（他人から借りているもの又は預かっているものを除く）
- (4) 中古で購入したものや手製のもの。
- (5) 現品を入手していないが、購入契約済の品物。
- (6) 故障、破損などのため使用不可能なもの、今後使用見込みがないものを除く。
- (7) 遊学中の子供や出稼ぎの人等の家族が長期間持ち出しているものを除く。

資料出所	調査期日	調査周期
*1「自家用乗用車の世帯当たり普及台数」 (一財)自動車検査登録情報協会	令和4年3月31日	毎年
*2、*3、*4「全国消費実態調査」 総務省	平成26年10月末日	5年